

つきたい力

- ・情報活用能力・・・必要な情報を収集・整理・分析できる力
- ・課題解決力・・・自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力
- ・ICT活用能力・・・プレゼンテーション力

取組みの概要・ポイント

- ・各教科の学習において、「情報活用能力の育成」に視点をおいた取組みを実施。
- ・学校図書館をさまざまな教科での調べ学習に活用することに重点を置いて、取組みを推進。

具体的な取組みの内容

学校図書館を活用した授業づくり

○各学年、各教科の単元ごとに、「学校図書館を活用した情報活用能力の育成」に向けた目標設定の実施

情報収集能力の育成

低学年：本や図鑑、インタビューを通して収集する
 中学年：課題解決に向けて自分に合った方法(インターネット含む)で調べる。
 高学年：複数の図書・資料(インターネット含む)から選択する。



2年生「生活科」
おもちゃの作り方やそれに伴う改良案を専門書や図鑑から収集する様子

整理・分析力の育成

低学年：思考ツールを活用し、分類する。
 中学年：思考ツールを活用し、整理・分類し取捨選択する。
 高学年：思考ツールを活用し、整理・分類したり、比較したり、関連付けたり、多面的に見たりする。



1年生「国語科」
思考ツールを活用し、生き物の隠れ方を分類する活動の様子

まとめ・表現・発信能力の育成

低学年：紹介カード等を作成し友だちに紹介する。
 中学年：相手がわかりやすいようにまとめ、発表する。
 高学年：ICT等を活用し相手に伝わりやすいように表現を工夫し発信する。



4年生「国語科」
選んだ本についてのポップや帯を作って学校図書館に掲示した様子



5年生「国語科」
1～4年生までの学習した物語文を振り返り、得た学びを学校図書館に掲示した様子

本に親しむ場づくり

- 図書委員（児童委員会）によるお話宅配便（読み聞かせ活動）の開催

5年生～6年生の図書委員の児童たちが主体的に「読み聞かせ」を行った。どの学年に読み聞かせを行うかによってどのような本を選ぶかが変わることを見聞し、児童自身が実感することで、様々な本を選んでいて、読み聞かせの取組みで達成感を得ている姿が見られた。



- 第二図書館（情報センター）の設置
 情報センターとしての機能を充実させ、情報活用能力育成に向けた環境整備を進めていった。さらに、子どもたちが主体となって、第2図書館の改造計画を進めるために授業支援ソフト「ロイロノート・スクール」を活用した。「自分たちでよりよい図書館を創る」意識が高まって、主体的に学校図書館を活用していく姿が見られた。



取組みを通しての子どもの変容

- ・ 図書館開館時間（朝、20分休み、昼休み）の児童の図書館活用（平均：朝37.6人 20分休み：51.4人 昼休み：51.4人）
- ・ 第2図書館を活用して本やインターネットを使って調べる機会が増え、全ての教科、学年で情報活用能力育成に向けた授業が進められ、積極的に課題について調べる児童が多くなった。また、「本が読むことが好き」と回答している児童も12月時点で83ポイントと読書に対する意欲の高い児童が増えた。

その他の取組みはコチラ

